



真喜志 勉 TOM MAX
Turbulence 1941-2015

Unknown (1975)

多摩美術大学美術館 Tama Art University Museum

2020.7.4.sat ▶ 9.22.tue

このたび多摩美術大学美術館では、沖縄を拠点に活動した美術家・真喜志勉(1941-2015)の足跡を辿る展覧会を開催いたします。真喜志はネオ・ダダやポップ・アートの手法も織り交ぜながら、沖縄の同時代を写し出す作風を切りひらきました。美術団体等には所属せず、1970年代以降ほぼ毎年個展を開催し、およそ50年にわたり新作を発表し続けました。

長い戦後を歩んできた沖縄において、真喜志の作品から沖縄が基地の島として晒されてきた社会背景を読み解くことができます。一方で、ジャズをこよなく愛した真喜志は、アメリカ文化への憧れも隠しませんでした。様々な要因がもたらす「複雑さ」も内包する表現は、時に飄々としたユーモアを持って、時にあふれんばかりの感情と緊張感を持って、見る人の心を揺さぶります。

本展ではその膨大な画業のなかから作家旧蔵の約90点を紹介します。沖縄県外で真喜志の作品をまとめて見ることのできる初めての機会となります。

This exhibition presents works by the Okinawan artist Tsutomu Makishi (1941-2015). Makishi developed his style that mirrored the social and political climate of Okinawa, while also incorporating neo-dada and pop art techniques. He did not belong to any art groups or organizations, he held solo exhibitions almost every year since the 1970s and constantly presented new work for about 50 years.

Within Makishi's works the viewer can see the social circumstances of Okinawa, an island that has experienced a prolonged post-war period through the presence of U.S. military bases. On the other hand, the artist also enjoyed jazz music and didn't hide his love for American culture. The expressions that come from this complex background strike the viewer with a mixture of breezy humor and bursting passion and intensity.

Selected from an extensive oeuvre, this exhibition presents works that once belonged to the late artist's own collection and is the first time they have been shown outside Okinawa.

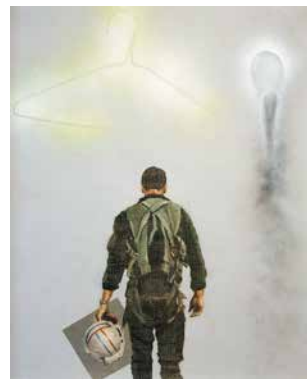
真喜志 勉 (まきし・つとむ 1941-2015)



沖縄県那覇市生まれ。1964年多摩美術大学絵画科油画専攻を卒業。沖縄の本土「復帰」直後の72年から約1年間ニューヨークに游学。帰郷後、「絵画教室ペンとほうす」を主宰しながら、ほぼ毎年個展を開催。TOM MAXの愛称で知られ、2015年に急逝。

Born in Naha, Okinawa. Makishi graduated Tama Art University in 1964. He later spent around a year studying in New York in 1972, immediately after the return of Okinawa to Japanese control. After moving back to Okinawa, he held solo exhibitions almost every year and founded Painting Class: Penthouse. Commonly known by the nickname "Tom Max", he passed away in 2015.

Tom Max



《LEFT ALONE》(1979)



ドローイング (1970年代)



Unknown (1997)



《記憶のイエローナンバー》(1983)

photo credit: Naobumi Okamoto (life goes on Inc.)

展覧会カタログ

豊富な図版と多彩な執筆陣のテキストで真喜志勉の世界にせまる、カタログを販売します。通信販売をご希望の方は、現金書留にて承りますので、お電話かメールにてお問い合わせください。

価格：2,000円(別途、送料がかかります)

トークセッション

担当学芸員と共同企画者の町田恵美が「いま真喜志勉の作品を見ること」について語ります。

2020年7月4日(土) 14:00~15:00

会場：多摩美術大学美術館 展示室

■事前予約制。開催情報と参加方法の詳細はHPをご覧ください。

【お願い】新型コロナウイルスの拡大・収束状況により、イベントの内容が変更となる場合もございます。随時当館のHPにてお知らせいたしますのでご確認ください。またはお電話かメールにてお問い合わせください。

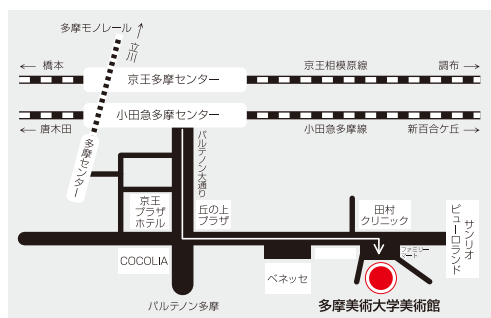
メール：museum-event@tamabi.ac.jp



主催	多摩美術大学美術館
共同企画	町田恵美
特別協力	真喜志民子、真喜志奈美
協力	沖縄県立博物館・美術館 ペンとほうす OB.OGのみなさま
助成	公益財団法人 朝日新聞文化財団 公益財団法人 三菱UFJ信託地域文化財団

「見えない線 / Hidden Line」シリーズ

多摩美術大学美術館では、全国各地で活動する作家を紹介する展覧会を開催しています。その柱のひとつとして「見えない線 / Hidden Line」シリーズを展開します。多様なインフラによりあらゆる場所にアクセスが可能になった現在において、作家の表現を通じて、人と場所の関わりを再考するものです。本展はその1回目となります。



多摩美術大学美術館

休館日◎火曜日【※9/22(火・祝)は開館】

開館時間◎10:00~17:00(入館は16:30まで)

Closed: Tuesdays (except September 22, 2020)

Time: 10:00-17:00 *Last admission is 30 minutes before closing.

入館料◎一般300円(200円)

※()は20名以上の団体料金 ※障がい者および付添者、学生以下は無料

〒206-0033 東京都多摩市落合1-33-1 電話◎042-357-1251 <http://www.tamabi.ac.jp/museum/>

交通◎多摩センター駅 徒歩7分 (京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール)

Tama Art University Museum

20th
Anniversary